

遊佐町立小学校新校開校準備委員会

第 9 回 理 事 会 次 第

令和 4 年 11 月 9 日 (水) 19:00～ 遊佐町役場 議場

1. 開 会

2. あいさつ 【会長】

3. 報 告 【会長】

(1) 全体の進捗状況について 資料 1・資料 2・2-1

(2) 各部会の進捗状況について

総務部会 資料 3

① 校旗の決定・購入について 資料 4

② 校歌の制定について 資料 5 ⇒終了後、回収

PTA 部会

① スクールバスの試運転について 資料 6

学校部会 資料 7

① 令和 5 年度遊佐小学校グランドデザイン (案) について 資料 8

② 令和 5 年度遊佐小学校教育計画 (案) について 資料 9

③ 令和 4 年度交流学习について 資料 10

4. 協 議 座長：【会長】

(1) 「見守り隊の方向性」の決議について 資料 11

5. そ の 他

令和 5 年度の児童在籍数について

6. 閉 会

遊佐町立小学校新校開校準備委員会 理事・委員 名簿

2022年7月1日現在

番号	団体等	理事	委員	委員	委員	備考
1	蕨岡まちづくり協会	齋藤 司	時田 正治	—	—	
2	遊佐地域づくり協議会	佐藤 憲三	佐藤 悦雄	—	—	
3	稲川まちづくり協会	土門 勝子	池田 政幸	—	—	
4	西遊佐地区まちづくりの会	伊藤 新一	遠田 文雄	—	—	
5	高瀬まちづくりの会	佐藤 源市	尾形 清明	—	—	
6	吹浦地区まちづくり協議会	佐藤 勇司	高橋 敏夫	—	—	
7	蕨岡小学校PTA	松本 猛	池田 一美	高橋 ちはる	仲鉢 拓真	
8	遊佐小学校PTA	◎石垣 正浩	小松 昇永	佐藤 祐児	渋谷 千子	
9	藤崎小学校PTA	齋藤 行成	佐々木 早人	遠田 明美	伊藤 健太	
10	高瀬小学校PTA	○常田 俊哉	松宮 竜也	菅原 清香	高橋 朋子	
11	吹浦小学校PTA	高橋 弘一	栄田 香	富樫 一生	小野寺 悠	
12	蕨岡小学校	門崎 由紀	武田 裕一	富樫 郁子	—	
13	遊佐小学校	菅原 覚	佐藤 健太郎	橋本 弘美	—	
14	藤崎小学校	富樫 由紀子	柿崎 良	堀 利彦	—	
15	高瀬小学校	大塚 優	池田 博之	菅原 学	—	
16	吹浦小学校	梶原 勝	近藤 行宣	菊池 美保	—	
17	認定こども園杉の子幼稚園	佐々木 義崇	大塚 美和	—	—	
18	遊佐保育園	丸山 貴政	永末 康成	—	—	
19	藤崎保育園	今野 太陽	石垣 博也	—	—	
20	吹浦保育園	高橋 一樹	池田 昌治	—	—	
21	識見を有する者	阿部 勝志	—	—	—	
22	識見を有する者	遠田 裕子	—	—	—	
23	識見を有する者	菅原 聡	—	—	—	

(◎:会長、○副会長)

(教育委員会 事務局)

番号	所属	氏名	役職	備考
1	遊佐町教育委員会	土門 敦	教育長	
2	遊佐町教育委員会 教育課	菅原 三恵子	課長	
3	遊佐町教育委員会 教育課	菅原 潤	総務学事係長	
4	遊佐町教育委員会 教育課	鈴木 純平	学校指導係長兼指導主事	
5	遊佐町教育委員会 教育課	高橋 和則	総務学事係 主査	
6	遊佐町教育委員会 教育課	佐藤 千嘉	総務学事係 主任	
7	遊佐町教育委員会 教育課	池田 小珠	総務学事係 主事	
8	遊佐町教育委員会 教育課	伊藤 順一	学校教育コーディネーター	

新校開校準備委員会の各進捗状況

資料1

業務	年度 月	令和元(2019)年度												令和2(2020)年度												令和3(2021)年度												令和4(2022)年度												令和5年度 (2023)
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
組織及び業務 総務部	①校名の決定	→												完了												→												完了												
	②スクールカラーの決定	→												完了(青色で決定)												→												完了												
	③校章の決定	→												完了												→												完了												
	④校歌の制作	→												完了												→												完了												
	⑤校旗の決定・購入	→												完了												→												完了												
	⑥校舎(教室)の増築	→												設計完了												→												完了												
	⑦給食室の改修	→												設計完了												→												完了												
	⑧昇降口の改修	→												設計完了												→												完了												
	⑨空き教室のエアコン整備	→												整備完了												→												完了												
	⑩遊佐小学校事務室等改修	→												完了												→												完了												
	⑪駐車場の整備	→												完了												→												完了												
	⑫遊佐小学校北側町道拡幅	→												完了												→												完了												
	⑬スクールバスの購入検討	→												2台購入												→												完了												
	⑭教育後援会の検討	→												完了												→												完了												
	⑮同窓会の検討	→												完了												→												完了												
	⑯放課後の居場所づくり	→												完了												→												完了												
	⑰見守り隊の検討	→												完了												→												完了												
PTA 部会	⑱体育着の検討・決定・着用開始	→												体育着決定												→												体育着の販売開始												
	⑲PTA組織の検討、規約等の決定	→												完了												→												完了												
	⑳PTA事業の共有、交流活動の実施	→												完了												→												完了												
	㉑通学路・スクールバス乗車範囲の検討、決定	→												完了												→												完了												
	㉒教育課程の検討、具体化、決定 (修学旅行、自然教室等の学校行事) (運動会、四大祭等の地域行事)	→												完了												→												完了												
	㉓可能な内容からの地域間交流学習	→												完了												→												完了												
	㉔物品等の移動	→												完了												→												完了												
学校 部会 事務局	㉕5校の開校式(各小学校で実施)	→												完了												→												完了												
	㉖用地検討、諸手続き、造成設計等	→												完了												→												完了												
	㉗用地買収、駐車場造成、舗装等	→												完了												→												完了												
	㉘校舎等の設計・整備	→												完了												→												完了												
	㉙スクールバスの購入、仮運行	→												完了												→												完了												
	㉚校章の募集、完成、披露	→												完了												→												完了												
	㉛校歌の依頼	→												完了												→												完了												
	㉜校章の作成検討、発注、完成	→												完了												→												完了												
	㉝校旗の作成検討、発注、完成	→												完了												→												完了												
	㉞進捗状況の広報活動	→												完了												→												完了												
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				

→は完了 ⇒は検附中

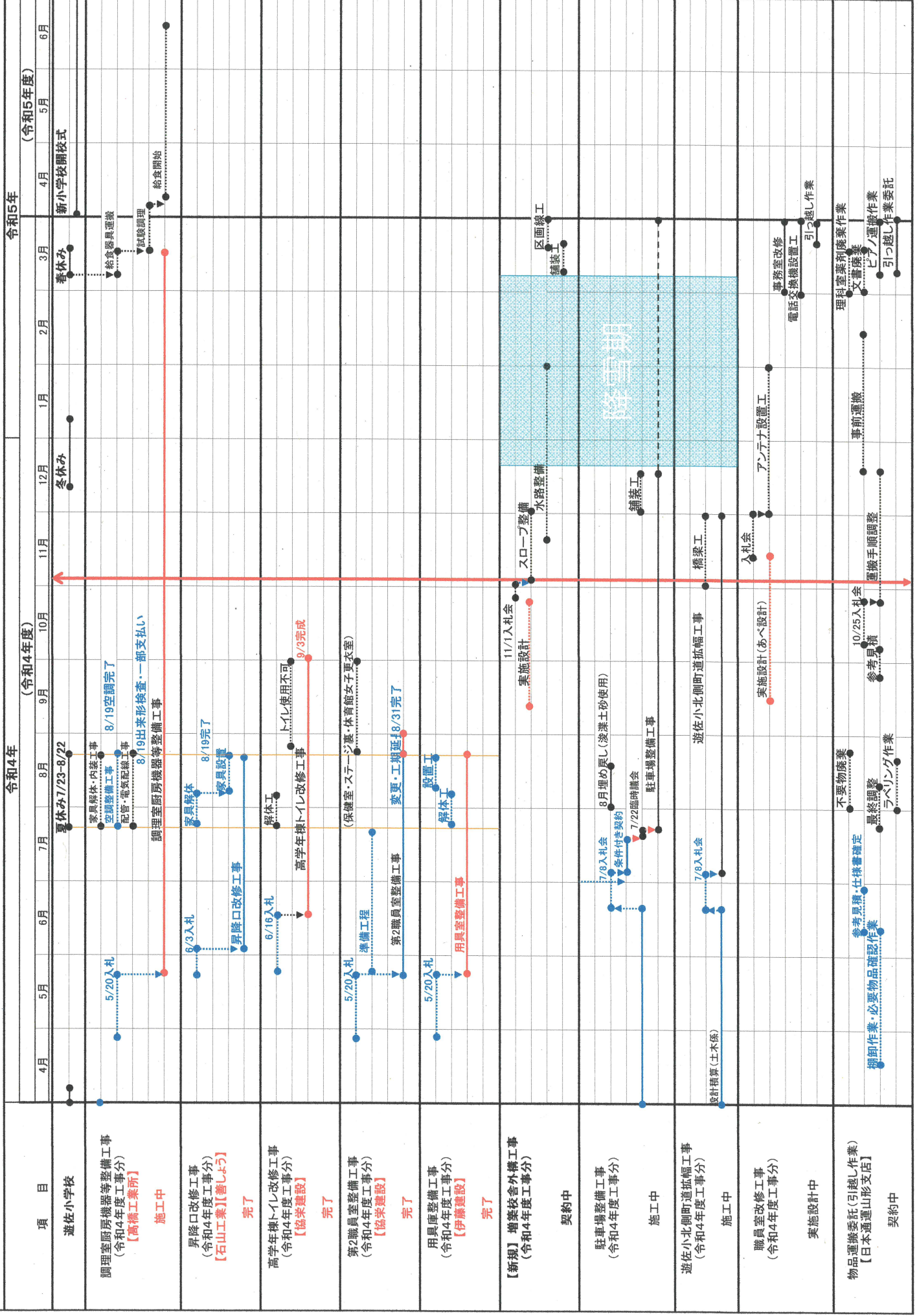
・開校式典
・始業式
・入学式
・PTA総会
・学校運営協議会
・その他行事

期間：令和4年4月～
令和5年6月

新校開校準備委員会工事関係スケジュール

R4.10.31現在

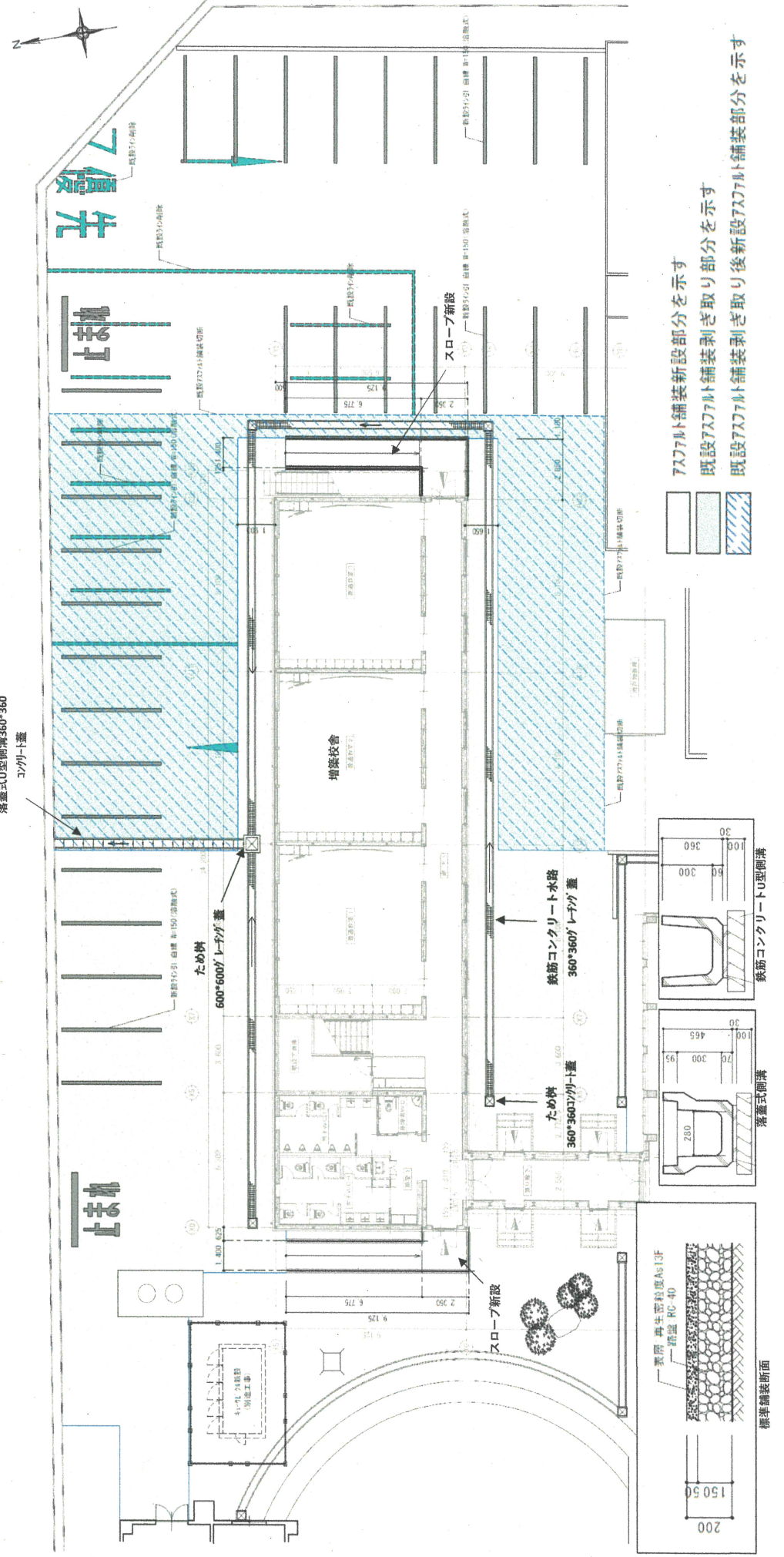
資料2



工事概要

令和3年度完成の遊佐小学校増築校舎周辺が元のバス転回場であったため、増築校舎とプールの間の部分は雨水が溜まり、雨天時通行の支障となっておりそれ以外の場所は未舗装である。当該工事では、増築校舎の周りに側溝を設置し、アスファルト舗装の上、区画線を引く。これに加え、遊佐小学校増築校舎の東西2か所の非常出口が階段（一部スロープ）でバリアフリー対応となっていないため、車いすでも安全に避難できるようスロープ及び手すりの整備を行う。

- ・新設道路と勾配調整が難しい部分については、既存舗装を撤去し再舗装、未舗装部分は路盤を整備し舗装を行う。
- ・排水は、増築校舎を取り囲むように鉄筋コンクリート水路を敷設し、蓋は鋼製グレーチングとする。鉄筋コンクリート水路工 7.9. 3m、鋼製グレーチング蓋工 7.9. 5m
- ・雨水は道路用側溝へ排水し、落蓋式側溝とする。落蓋式U型側溝 9. 2m
- ・増築校舎東西2か所の避難出口の西側については、既にスロープを打設しているため、打設については、東側1カ所となる。
- ・スロープ手すりは東西2カ所設置をし、東側2.0m、西側1.8. 4m



777777舗装新設部分を示す
 既設777777舗装剥ぎ取り部分を示す
 既設777777舗装剥ぎ取り後新設777777舗装部分を示す

標準舗装断面

資料3

(総務部会) の内容、方針等

(部会長:佐藤憲三、副部会長:松本猛)

R4.11.2現在

項目	検討内容	今後の方針
校舎・教室等について (第2回～6回総務部会)	<p>①普通教室の増設 教室数が普通教室で5教室足りないため、現在の普通教室や特別教室等を仕切ることを含め検討したが、難しいことが判明した。外側への増築について検討。</p> <p>外側への増築であるプラスチック物件について、業者からカタログ等の情報を収集して検討。 (プラスチック…2階建て・6教室・2トイレ、寒冷地仕様、耐震構造、エアコン、黒板、工期:6カ月、建築費:2億円程)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プラスチックを建設する場所の地盤調査も検討。 ●現在の校舎とプラスチックを接続できるかについて、庄内総合支庁の建築課と業者に確認。 ●渡り廊下(1階建て≒6m以上、2階建て≒10m以上)と防火扉があり、耐火基準、内装、通行・運搬状況等が基準を満たしていれば接続できるとのこと。 ●プラスチックの視察 令和元年12月25日に、総務部会員5人、事務局3人の計8人で、山形市立みはらしの丘小学校をのプラスチックを視察した。 <p>●普通教室の増設箇所の構造種別ごとの検討 普通教室の増設箇所について、2階建て・6教室・2トイレというイメージで、木造、軽量鉄骨造(プラスチック)、鉄骨造、鉄筋コンクリート造の4つの主要構造において、耐震性、空調効率、地元業者の活用、工期、耐久性、間仕切りの可変性、遮音、オーブンクラス、㎡当りの単価、坪当たりの単価、工事費、総評という項目で比較した。</p> <p>その結果、工期(6～7カ月)が短く、工事費用などの面から、軽量鉄骨造(プラスチック)の方向で主要構造を検討していくこととなった。</p>	
(第7回～9回総務部会)		

資料3

(総務部会) の内容、方針等

(部会長:佐藤憲三、副部会長:松本猛)

R4.11.2現在

項目	検討内容	今後の方針
(第10回～13回総務部会)	<ul style="list-style-type: none"> ●遊佐小学校校舎増築工事実施設計業務委託契約 (あべ建築設計事務所 6,050,000円) ●遊佐小学校校舎増築工事に伴う地質調査業務委託契約 (新和設計㈱ 2,310,000円) (土質ボーリング 30m×1カ所、20m×1カ所) 	令和3年度に校舎増築工事を完了し、令和4年度から使用可能。
(第11回総務部会) (第12回総務部会)	<p>第11回総務部会において、増築工事の設計内容について説明した。(説明資料は今後への影響を考慮し回収した)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●遊佐小学校校舎増築工事 (㈱高橋工業所 202,400,000円)(工期 R3.7.1～R4.2.28) (建築確認申請は令和3年7月6日に確認済証交付) <p>②給食調理室の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現在の場所を拡幅する方法や他の場所で調理し運ぶ方法など、4つの案を示し検討した。他の小学校で使用している給食器材を運び入れることや工事費等を考慮し、経費節減する方法を考えている。(調理師の方々にも4つの案を示した) 	経費だけでなく、調理師の方々の使いやすさも考慮し、4つの案から1つにしぼり、設計を検討していく。
(第10回総務部会) (第13回総務部会) (第15回総務部会)	<ul style="list-style-type: none"> ●遊佐小学校調理室計画提案業務委託契約 (あべ建築設計事務所 299,750円) ●遊佐小学校給食室改修実施設計業務委託契約 (あべ建築設計事務所 299,750円) ●遊佐小学校給食室厨房機器等整備工事 (㈱高橋工業所 11,330,000円)(工期 R4.5.20～R5.3.31) 	給食室については、令和3年度に実施設計を完了し、令和4年度に工事を予定。

資料3

(総務部会) の内容、方針等

(部会長:佐藤憲三、副部会長:松本猛)

R4.11.2現在

項 目	検討内容	今後の方針
(第13回総務部会)	<p>③昇降口の整備 昇降口に、靴箱、コート類、雨傘を置く場所を確保できるのか検討。</p> <p>●遊佐小学校昇降口改修工事実施設計業務委託契約 (あべ建築設計事務所 299,750円)</p> <p>●遊佐小学校昇降口下足入購入契約 (株式会社善しよう 6,578,000円)(納期 R4.6.3~R4.8.19)</p>	<p>工事は令和4年度に実施予定。</p>
(第10回総務部会) (第13回総務部会)	<p>④空き教室のエアコン整備 遊佐小学校エアコン設置工事実施設計業務委託契約 (有限会社水口建築構造設計事務所 499,400円) (統合後に使用する空き教室のエアコン5カ所)</p> <p>●遊佐小学校エアコン設置工事 (㈱高橋工業所 14,740,000円)(工期 R3.7.15~R3.11.30)</p>	<p>空き教室のエアコン整備については、令和3年度に工事を完了し、その後、使用可能。</p>
(第15回総務部会)	<p>⑤職員室等の整備 遊佐小学校事務室等改修工事実施設計業務委託契約 (㈱伊藤建築設計事務所 234,300円)</p> <p>遊佐小学校第2職員室整備工事 (協栄建設株式会社 3,740,000円)(工期 R4.5.20~R4.8.19)</p> <p>遊佐小学校教員室整備工事実施設計業務委託契約 (あべ建築設計事務所 165,000円)</p> <p>遊佐小学校教員室整備工事 (伊藤建設株式会社 2,750,000円)(工期 R4.5.20~R4.8.19)</p>	<p>工事は令和4年度に実施予定。</p>

資料3

(総務部会) の内容、方針等

(部会長:佐藤憲三、副部会長:松本猛)

R4.11.2現在

項 目	検討内容	今後の方針
<p>駐車場について (第2回～4回総務部会) (第12回総務部会) (第13回総務部会) (第16回総務部会)</p>	<p>⑥駐車場の確保 駐車場の確保について、小学校周辺に用地を求めることについて検討し、小学校近くの田んぼを4000㎡ほど用地買収したと仮定して車の台数を試算したところ、150台確保でき、既存の駐車場71台分と合わせて、計221台分確保できる。 現在の小学校の児童数における世帯割合から試算した駐車場の最大必要台数が、先生方の駐車場の最大43台分を含めて、405台分とみた。 221台／405台＝54.6%の駐車場は確保できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現在、バスがターンをしている区画には、プラスルームの建設を検討している。 ●用地の確保について、田んぼの場合、農業振興地域の除外申請と農地転用等の手続きの必要があるが、最低でも6カ月程かかるとのこと。 ●農業振興地域の除外は、令和3年10月4日に完了。 ●遊佐小学校駐車場予定地パイプライン移設工事 (株)斎藤工業 7,370,000円(工期 R3.12.24～R4.2.28) ●駐車場予定地不動産鑑定委託契約 (石川不動産鑑定 667,700円) ●遊佐小学校駐車場計画提案業務委託契約 (あべ建築設計事務所 242,000円) ●遊佐小学校駐車場整備工事実施設計業務委託契約 (株)出羽測量設計 6,600,000円) (遊佐小学校北側側道拡幅工事の一部設計を含む) ●遊佐小学校駐車場整備工事 (株式会社斎藤工業 51,700,000円)(工期 R4.7.22～R4.12.20) ●遊佐小学校北側側道拡幅工事 (株式会社土門建設 19,140,000円)(工期 R4.7.12～R4.11.30) 	<p>令和4年度に用地買収を実施し、駐車場を整備する。</p> <p>パイプライン移設工事の完了後に農地転用の手続きに移 行 令和4年5月23日 遊佐町農業委員会から農地転用許 可</p> <p>駐車場については、令和3年度に実施設計を完了し、令 和4年度に整備工事を予定。</p>

資料3

(総務部会) の内容、方針等

(部長:佐藤憲三、副部長:松本猛)

R4.11.2現在

項目	検討内容	今後の方針
<p>スクールバスについて (第7回総務部会) (第13回総務部会)</p>	<p>⑦スクールバス 小学校統合後のスクールバスについて、小学生と中学生の混乗というこ とで乗車人数を試算したところ、中型バス3台程が不足するため、それを 確保する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スクールバス駐車場舗装工事 (有限会社菅原建設 2,420,000円) (中型バス3台分の駐車場は確保可能) ●統合新小学校へのバスの進入ルートについて検討 新小学校へのスクールバスの進入ルートについて、4つの案を示し検討 したが、駐車場の用地確保の関係で変わってくる可能性もあり、結論が 出なかった。 ●スクールバスの購入 R2年度: 中型2台購入 (30,481,360円)、マイクロバス1台廃車 R3年度: 中型2台購入予定 (34,425,220円) 	<p>駐車場の用地確保に合わせて、バスの進入ルートについ ても検討していく。</p> <p>徒歩区域、スクールバス区域については、PTA部会で検 討中であるが、バス路線については、現在の8路線を基 準に、プラス4路線の計12路線で検討中である。バス は、大型3台、中型10台の計13台で整備中である。</p>
<p>校名について (第2回～6回総務部会)</p>	<p>⑧校名の募集 校名を募集すべきかについて検討し、募集することで、小学校の統合に ついて、まだ知らない人への周知にもなるので、募集することには賛成 多数であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(A案) 全員の白紙から募集する方法と(B案)いくつか案を示してその他 も含めて募集する方法の2つがある。 (A案)の賛成者が4人、(B案)の賛成者が11人であった。 ●募集要項、選考基準を作成して協議し、公募した。 	<p>公募の結果、「遊佐町立遊佐小学校」ということで校名が 決定したので、今後、その周知を図り、他の検討事項にも この校名を配慮していく。</p>

資料3

(総務部会) の内容、方針等

(部長:佐藤憲三、副部長:松本猛)

R4.11.2現在

項目	検討内容	今後の方針
<p>校章について (第2回～4回総務部会)</p> <p>(第7回総務部会)</p> <p>(第10回総務部会) (第11回総務部会)</p>	<p>⑨校章の募集 各小中学校の校章について確認した。 遊佐中学校や藤崎小学校は、それぞれその当時の先生が考えたが、今回の校章については、チヨウカイフスマを入れることを前提に募集することとした。</p> <p>●校章デザイン募集要項(案)、選考要領(案)の検討 遊佐町立小学校新校開校に係る校章デザイン募集要項(案)及び選考要領(案)を検討し、令和2年8月1日から9月30日までの期間で募集し、その募集作品の中から新校開校準備委員会で1点を選定し、教育委員会へ報告することとなった。</p> <p>●校章デザインの選考 校章デザインについて、遊佐町に縁のある県外の方や町内の方、児童等も含めて、32作品の応募があった。総務部会で選考した結果、1作品が選定された。 その1作品が理事会で決議され、教育委員会に報告後、議決された。 令和3年3月6日に、校章のデザインの考案者(長谷川稔氏、鶴岡市在住)への記念品の贈呈式が行われ、校章をあしらった木製の楯(制作:福増建具店)が、教育長より贈呈された。</p> <p>●選ばれた校章について、令和3年4月1日号の町広報に掲載し公表した。</p>	<p>校章について、教育委員会だよりや町のホームページ等にも掲載し、周知を図っていく。</p>

資料3

(総務部会) の内容、方針等

(部長:佐藤憲三、副部长:松本猛)

R4.11.2現在

項目	検討内容	今後の方針
校歌について (第2回～4回総務部会)	⑩校歌の依頼 各小中学校の校歌について確認した。 誰かプロの方をお願いすることとなった。	
(第8回～9回総務部会)	●校歌制定要領(案)の検討 遊佐町立小学校新校歌制定要領(案)について検討し、遊佐町立小学校新校歌制定委員会を設置して、数名の方に委員を依頼し、校歌の制定及びその作詞家、作曲家の選定をもらうこととなった。	
(第8回～9回総務部会) (第13回総務部会)	●遊佐町立小学校新校歌制定委員会の設置 令和2年10月27日に準備会を開催し、遊佐町立小学校新校歌制定要領に基づき、委員6人による遊佐町立小学校新校歌制定委員会を設置されました。	
	●令和2年11月25日に第1回新校歌制定委員会を開催し、作詞家、作曲家に関する情報交換を行いました。そこで、「某タレント」の名前があり、インターネット上のオフィシャルサイトを通じて、連絡をとってみたいとなった。	
	●令和2年12月8日、オフィシャルサイトを通じて、初めて所属事務所と連絡を取った。	
	●作詞は「某タレント」ができるが、作曲は他の人との共作になるなど、他の件も含めて所属事務所と8カ月に渡り交渉を行った。	
	●令和3年8月2日付けで、「某タレント」の校歌制作について、所属事務所と契約を締結し、令和3年度中に校歌を制作してもらうこととなった。 ●令和3年10月1日に、「某タレント」と校歌制定委員会委員が、初めてリモートで会議を行い、「某タレント」の校歌制作への思いを確認した。	

資料3

(総務部会) の内容、方針等

(部会長:佐藤憲三、副部会長:松本猛)

R4.11.2現在

項目	検討内容	今後の方針
(第14回総務部会) (第15回総務部会) (第16回総務部会) (第17回総務部会)	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年1月28日に、「某タレント」と校歌制定委員会委員及び教育長、畠中裕之氏(町のガイド)が、リモートヒアリングを実施し、学校や町の説明をした。 ●令和4年3月7日に、第7回校歌制定委員会を開催し、「某タレント」の制作した校歌のデモ版を聴きながら検討した。 ●令和4年4月25日に、第8回校歌制定委員会を開催し、楽譜、音源、メッセージ動画を確認した。 ●令和4年6月24日に、第9回校歌制定委員会を開催し、歌詞の修正依頼箇所について確認した。 ●令和4年10月26日に、第10回校歌制定委員会を開催し、歌詞、楽譜の修正箇所について確認した。 	11/14の交流学習会の際に児童に披露

資料3

(総務部会) の内容、方針等

(部長:佐藤憲三、副部長:松本猛)

R4.11.2現在

項目	検討内容	今後の方針
<p>教育後援会について (第11回～14回総務部会)</p>	<p>①教育後援会 新校開校準備委員会の会長からの要請ということで、各小学校の教育後援会の合同調整会議を開催する。</p> <p>●令和2年11月16日の遊佐小学校事務局との事前打合せの後、12月18日に教育後援会合同調整会議の第1回を開催した。</p> <p>●各教育後援会の新小学校におけるあり方の調査を実施。(R3.1.27)</p> <p>●遊佐町立小学校新校開校に伴う「教育後援会」調整会議開催要綱の設置(R3.7.15)</p> <p>●第2回調整会議(R3.7.15)・・・あり方に関する調査結果提示 調整会議開催要項検討 基本的な方針検討 (新たな教育後援会を組織、事務局は遊佐小、持参金無し) 規約案の原案作成の仕方・今後のスケジュール検討 ・第3回調整会議(R3.9.30)・・・規約(案)、会費徴収(案)、活動内容(案)、役員(案)検討 ・第4回調整会議(R3.12.20)・・・規約(案)、会費徴収(案)、活動内容(案)、役員(案)検討</p>	<p>原案を第7回新校開校準備委員会理事会で承認</p>

資料3

(総務部会) の内容、方針等

(部長:佐藤憲三、副部长:松本猛)

R4.11.2現在

項 目	検討内容	今後の方針
<p>同窓会について (第11回～14回総務部会)</p>	<p>⑫同窓会 新校開校準備委員会の会長からの要請ということで、各小学校の同窓会の合同調整会議を開催する。</p> <p>●令和2年11月16日の遊佐小学校事務局との事前打合せの後、12月18日に同窓会合同調整会議の第1回を開催した。</p> <p>●各同窓会の新小学校におけるあり方に調査を実施。(R3.1.27)</p> <p>●遊佐町立小学校新校開校に伴う「同窓会」調整会議開催要綱の設置(R3.7.15)</p> <p>●第2回調整会議(R3.7.15)・・・あり方に関する調査結果提示 調整会議開催要項検討 基本的な方針検討 (新たな同窓会を組織、事務局は遊佐小、持参金としては無し)</p> <p>●規約案の原案作成の仕方・今後のスケジュール検討 第3回調整会議(R3.9.30)・・・規約(案)、会費徴収(案)、活動内容(案)、役員(案)検討 第4回調整会議(R3.12.20)・・・規約(案)、会費徴収(案)、活動内容(案)、役員(案)検討</p>	<p>原案を第7回新校開校準備委員会で承認</p>
<p>見守り隊について (第13回総務部会) (第15回総務部会) (第16回総務部会)</p>	<p>⑬見守り隊</p> <p>●見守り隊(登下校の見守り活動)発足経緯と現状調査(R3.7)</p> <p>●まちづくり協議会連合会で各まちづくり協議会の考えを意見聴取(R3.8.30)</p> <p>●まちづくり協議会連合会と校長会との打合せ会を実施(R4.3.25)</p> <p>●見守り隊の方向性について確認</p> <p>●まちづくり協議会連合会と校長会との打合せ会を実施(R4.7.15)</p>	

資料3

(総務部会) の内容、方針等

(部会長:佐藤憲三、副部会長:松本猛)

R4.11.2現在

項目	検討内容	今後の方針
<p>放課後の居場所づくりについて (第13回総務部会)</p>	<p>⑭放課後の居場所づくり ●遊佐町立小学校新校開校に伴う児童の放課後の居場所づくり検討会開催要綱の設置 (R3.10.5)</p> <p>●放課後児童クラブと放課後子ども教室の新校開校後のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉課・教育課での検討、事務局会議開催して検討 ・第1回児童の放課後の居場所づくり検討会 (R3.10.5) <p>●放課後児童クラブと放課後子ども教室の開設状況の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二一ス調査(年長児童、1～4年児童対象)の実施と課題の洗い出し <p>●第4回児童の放課後の居場所づくり検討会 (R4.3.13) での報告内容を確認</p>	<p>原案を第8回新校開校準備委員会で承認</p>
<p>スクールカラーについて (第4回～6回総務部会)</p> <p>(第14回総務部会)</p>	<p>⑮スクールカラー PTA部会から、スクールカラーが決まらなと体操着の色が決められな いという意見があった。</p> <p>●スクールカラーについて総務部会で検討し、子どもたちを育む晴れわたる鳥海山や月光川の清流、湧水や日本海などをイメージした「青色」ということで選定し、理事会で決定した。</p> <p>●スクールカラーの「青色」の具体的な色名を「シーブルー (Sea blue)」と選定した。</p>	<p>スクールカラーが「青色」ということで決定したので、今後、その周知を図り、他の検討事項にもこの色を配慮していく。</p> <p>「青色」にもさまざまな色があるので、具体的な色合いについては今後検討していく。</p> <p>原案を第7回新校開校準備委員会で承認。</p>

資料3

(総務部会) の内容、方針等

(部長:佐藤憲三、副部長:松本猛)

R4.11.2現在

項目	検討内容	今後の方針
<p>旧校舎の利活用について (第4回総務部会)</p> <p>(第15回総務部会)</p> <p>(第16回総務部会)</p>	<p>⑯旧校舎の利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企画課において、R4.1.28に第1回遊佐町小学校空校舎利活用検討委員会を開催した。 ●企画課において、R4.4.22に関係課からのヒアリングを行った。 ●企画課において、R4.6.15に第2回遊佐町小学校空校舎利活用検討委員会を開催した。 ●企画課において、R4.7.27に第3回遊佐町小学校空校舎利活用検討委員会を開催した。 	<p>空き校舎利活用検討委員会及び町の決定による。</p>
<p>校旗の決定・購入について (第16回総務部会)</p>	<p>⑰校旗の決定・購入について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●R4.8.25の総務部会において、事務局案をもとに協議し、決定。 	<p>総務部会で決定したデザインで発注</p>

校旗の決定・購入について

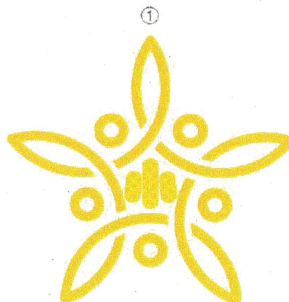
① 金糸 市松刺しゅう
(小の字が盛り上がっている)
※採用

20220624-4 遊佐町立遊佐小学校 校旗 68×100cm 原寸の10%

金糸・市松刺繍 金糸

手刺繍

※章サイズ=H36cm、W38cm



遊佐町立遊佐小学校

ピース紺 (青系統 濃紺 黒に近い)

(あ) 生地: 正絹綾錦 (No.9・ピース紺)

(あ)-①校章の「小」、市松刺繍

(あ)-②

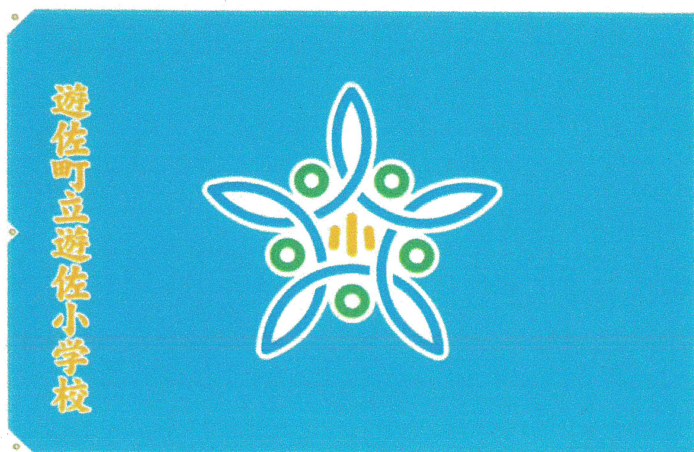


(裏)



(表)

シーブルー (スクールカラー) を下地に使用



学校名を小の字の色に合わせて黄色とし、白縁で囲んだものとした。

令和4年10月21日

各地区区長 殿
各地区見守り隊の皆様へ

遊佐町教育委員会
教育長 土門 敦
遊佐町校長会長
菅原 覚 (遊佐小校長)

新校開校に伴う

登校時の見守りについて (お願い)

秋冷の候、皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、遊佐町の児童生徒の登下校を中心とした見守り活動に、多大なるご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。9月20日(火)に予定しておりましたスクールバスの試運転は、残念ながら台風の影響により、小学校すべて臨時休校となったために、中止させていただきました。登校を見守っていただいた皆様には、大変ご心配をおかけしました。

さて、前回予定しておりましたスクールバスの試運転を下記のように実施します。

つきましては、皆様の地区の最寄りのバス停を前回お配りした「スクールバス時刻表(9月20日乗車練習用)」で確認いただき、児童が安全に登校できますように、当日朝の見守りをしていただければ幸いです。

なお、6年児童も交流学習のため一緒に乗車します。また、保護者の皆様にも、当日の児童の見守りをお願いしております。

記

- 1 日 時 11月14日(月) 午前7時10分頃から
- 2 場 所 各地区バス停留所付近
(前回お配りした「スクールバス時刻表9月20日乗車練習用」をご覧ください)
- 3 見守り内容
 - ・ 遊佐っ子見守り隊の皆様には、徒歩の児童の見守りとバス通学児童のバス停までとバス乗車の見守りをお願いいたします。
 - ・ わらびっ子見守り隊、ふじっ子見守り隊、吹浦見守りたい、高瀬っ子を守る会の皆様方には、自宅からバス停までの見守りとバス停でバスの乗車の仕方の見守りをよろしくお願い致します。
- 4 その他
 - ・ 今後も引き続き、遊佐町の児童生徒の登下校を中心とした見守り活動をよろしくお願いいたします。
 - ・ なお、臨時休校等で中止する場合は、決定次第、各まちセン会長さん、各見守り隊長さんに教育委員会より連絡をさせていただきます。特に連絡が必要な方は、遊佐町教育委員会総務学事係(TEL72-5891)まで、事前にご連絡ください。

(学校部会)の内容、方針等 (部会長: R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長: R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項目	検討内容	今後の方針
部会資料の開示について	各委員が町民から意見を吸い上げるためには、詳しく説明する必要があるので、部会資料をどこまで開示してもよいのか検討する必要がある。	基本的に学校部会で委員に配布された資料は開示する。ただし、協議の上、開示しない方がよいとなった資料については、例外的に開示しない。
行事等の整理の仕方について	行事等の整理の仕方を共通化するために分類方法を検討する必要がある。	4つに分類し、各校の行事等を一覧にして検討していく。 ①学校が主体となって地域が協力するもの ②地域が主体となって学校が協力するもの ③町が主体となって学校が協力するもの ④その他 また、学校共通の「地区運動会」と「学習発表会と地区文化祭の関わり」については、町校長会とまちづくり協議会に調整を依頼することとする。
教育課程に関する今後の進め方について	令和2年度～令和3年度のスケジュール	学校の教育課程内外で取り組む行事(重点化のうえ厳選したもの、理事会では、スリム化も図って欲しいという意見もあった。)とそれ以外の行事(地域の方々で取り組む行事等、見直し図る行事等)を仕分け検討する。 学校部会で検討していることを各まちづくり協議会等、各PTA、各学校と情報共有しながら合意形成を図り、学校部会としての意見をまとめ、町校長会に意見書を出す。
	令和4年度のスケジュール	学校部会の意見書を基に新校の教育課程を学校が作成する。(教育課程の最終的な編成の責任は、校長にある。)それを学校部会にフィードバックしてもらい、検証する。
交流学習について	今後の進め方	令和2年度中に交流学習の計画等を検討し、学校部会の意見を町校長会に伝える(町校長会で方向性を決定し、学校で具体的な計画を立てる)。 令和3年度から交流学習を実施する。

(学校部会)の内容、方針等 (部会長：R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長：R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項目	検討内容	今後の方針
行事等の整理について	各校に共通しているものは学校部会では検討せず、統合してから実施していく。 教科の学習は、教科のねらいに沿って学校が計画して行うことなので、学校部会では検討しない。	1. 読み聞かせ、2. 人権の花、3. クラブ活動での取組み、4. 自然教室、5. ダンス教室、6. ジオパーク学習、7. 稲作学習・体験、8. お元気ですか訪問、9. 赤ちやんふれ合い体験 1. 社会科に関するもの、2. 理科に関するもの
令和2年度以降に検討するもの	その他、学校部会では検討しないもの(学校に任せるとの)	サクラマス放流
	国語科の学習	教科書を超えた内容のものは検討する余地あり。
	生活科の学習	遊佐町の山、川、海を体験できるような学習にしたい。
	行事等	高瀬、吹浦等の相撲大会等は地域の特色があるので、丁寧に議論する必要がある。合意形成ができるのか、統合小学校で実現可能なのか、そして、子どもの学びにつながるかが大事である。
	まちづくり協議会が主体で行っているもの	①さまざまな行事があるので、全体でやるのか、地域の子どもたちだけが参加するものなのか考えないといけない。 ②基本、土日の地区の行事であれば、学校に関係なく参加可能。学校の学習発表会と地区の文化祭の関わり合いは、まちづくり協議会、校長会の両方で話し合って決め、その後、検討していく。 ③まちづくり協議会側からすると、行事に子どもたちが参加することによって、大人も参加する。そういった形でイベントをしているので、子どもたちの学びにつながるかを考えていかなければならない。

(学校部会)の内容、方針等 (部会長：R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長：R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項目	検討内容	今後の方針
	四大祭	<p>①統合後は、発表の準備などは難しくなってくるのではないかと。</p> <p>②統合後は、準備をなくしても参加できる内容に変更するもの良いのではないかと。</p> <p>③政養祭は、事前にどのような人物なのかを調べて学習する内容となっている。</p> <p>④項目を縦軸だけで見ると、遊佐町の宝なので横断的に考える必要がある。どの地域も愛郷心を育てたいと思っている。藤蔵祭、戴邦碑祭、政養祭、諏訪部祭について、なぜ毎年行われているのか、地域の方が参加しているのか、語らってもらったリインテビューしたりするから意義がある。そのうえで、町の行事(四大祭)を総合で学んでいくことは、子どもたちの学びには非常に効果的であると思う。</p>
	その他	<p>「松の活動」を継続するかどうかについては、統合小学校で何を学校で大事にするかによるかと思う。藤崎小学校では、地域とのつながりを大事にしている。4年生以上が、緑の少年団に入ってから、地域の方やPTAも含め松を大事にしていくという内容の活動である。</p>
「総合的な学習の時間」についての学校部会としての方向性(地域の自然、文化、歴史、行事等の取扱い)		<p>この地域のこの行事を必ず取り入れるという形ではなく、地域のさまざまな素材(自然、文化、歴史等)のリストを準備し、学校側で選択できるようにする。どの内容を取り扱うのかについては、子どもの実態等に合わせて学校に委ねる。</p> <p>ただし、取り扱う内容は固定しない方がよい。毎年、子どもの実態等に合わせ、取り扱う内容を選択していく。子どもたちが楽しく学べるようなものにする。</p> <p>地域に子どもたちの声をという意見があるので、地域の目を設けることも考慮していく。</p>

(学校部会)の内容、方針等 (部会長：R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長：R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項目	検討内容	今後の方針
<p>(令和2年度第6回学校部会) 特に合意形成を図る必要がある内容について</p>	<p>総合的な学習の時間の時間について、各校での学習内容をもとにリストを作成し、児童の実態やねらいにそって年度ごとに選択する案</p> <p>まちづくり協議会が主体となって行っているもの</p>	<p>児童が何を学びたいのかを大事にしながら教育課程を組み立てる。 遊佐町全体をフィールドにした豊かで深い学びの場にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年と同じ内容を選びがちにならないよう配慮が必要。 ・毎年実施しない内容の場合、地域の先生が対応できない事態も考えられるため、対策が必要。 ・教育課程の中でやるもの、地域でやるもの(授業以外)を精査する。 ・取組み方次第で実施可能なものがあるので、工夫する。 <p>子どもに参加を呼びかける行事の整理や呼びかけ方について検討が必要。 ・行事日程や内容について、まちづくり協議会同士ですり合わせた方がよい。 ・例えば、それぞれの地域の日を決めることで、今まで参加していなかった他地区の行事に参加できるようになるのではないかと。</p>

(学校部会)の内容、方針等 (部会長：R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長：R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項目	検討内容	今後の方針
(令和2年度第6回学校部会) 交流学习について	方向性と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・計画では令和3年度から実施する予定 ・新しく行事を起こすのではなく、今ある教育課程の中で実施する。 ・新学習指導要領、コロナ対策など、学校を取り巻く状況は厳しく、現場への負荷・ストレスも増えているため、立ち止まって考えることも必要。 ・交流学习のねらい、目的をはっきり決めておく。 ・地区、学年など、ある程度の枠をつくって実施する。 ・自然教室(宿泊体験学習)では、オリエンテーションなどで交流活動をする等工夫する。 ・時間の確保が難しくなるので、一堂に会するほうがよい。 ・地域の良さを互いに教えあう交流の仕方がよい。 ・人間関係は高学年になるほど馴染むのがむずかしくなるので、交流について配慮が必要。 ・現在でも交流している行事もある(スポ少など)ので、既存のものを見直す対応でもよい。教員の負担を減らす工夫が必要。 ・スポ少などで既に交流のある関係だけが濃くならないように配慮が必要。
(令和2年度第6回学校部会) 今後について	意見の集約方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会合等が中止となり、地域の意見を集める場がない状態になっているが、地区やPTAの役員等が集まって情報共有・意見交換をしていく。第7回の学校部会で意見を集約する。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・町民向けに広報を利用するなどして進捗状況を報告した方がよい。 ・話し合いの途中のものを公表して、意見を吸い上げた方がよい。 ・文章だけではなく、動画での情報発信はどうか。

(学校部会)の内容、方針等 (部会長：R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長：R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項目	検討内容	今後の方針
<p>(令和2年度第7回学校部会) これまでの学校部会の検討事項に関する意見について</p>	<p>各地区の学習素材の取扱い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上寺に関する学習は残したい。 ・湧水のピオトープを生かした学習ができるとう良い。 ・町全体に関わるものを優先して組み込んでどうか。 ・相撲大会はまちセンの体育部会で進める方針。 ・各地区で優先的に残していきたいものをどうするか。 ・どんな学校をつくるかという学校像から、総合的な学習へ反映させていく必要がある。 ・小学校1校、中学校1校となるので、小から中までの学習の繋がりが必要ではないか。
	<p>学習素材のリストの優先順位</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学習が優先されることが大前提である。 ・リストの上位を必ず取り入れなければならないという制約があるわけではない。 ・各学校区ごとに大事だと考えている内容を出し合うことも必要である。 ・各学校区から、ぜひ学習に取り入れてもらいたいものを1つか2つ出してもらう。 ・優先させたい内容がわかるようにリストを作成する。 ・事前に意見を出してもらい、次回の学校部会でリストにして検討する。
<p>(令和2年度第8回学校部会) 教育課程に関する意見書(案)について</p>	<p>学習素材のリスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習素材の分類の仕方は様々あるが、概ね原案通りでよい。厳密に分類しすぎない方がよい。 ・環境は全ての分野に共通している。 ・どの学年が学習するかなどは、学校側に任せる。 ・内容の細かい点を各学校毎に再調整し、次回までにリストを完成させる。

(学校部会)の内容、方針等 (部会長:R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長:R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項目	検討内容	今後の方針
(令和2年度第9回学校部会) 教育課程に関する意見書(案)について	学習素材のリスト	<ul style="list-style-type: none"> ・自然分野の鳥海山関連の学習は、ジオパークの学習として位置づける。 ・四大祭は中学校も含めて実施を検討する。 ・学習素材について具体的にどのような取り組んで行くかは、今後も検討していく必要がある。 ・【別紙】のように町校長会へ意見書を提出する。
(令和2年度第9回学校部会) 交流学習の計画(案)について	令和3年度遊佐町立小学校交流学習活動の計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・【別紙】のように計画している。 ・学校部会としては、令和3年度の交流学習の状況を2学期の終わり頃に確認していく予定。
(令和2年度第9回学校部会) その他	地区運動会と文化祭(学習発表会)について	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭(学習発表会)は、地区運動会と同様に、子ども達が参加しやすいよう日程を合わせた方がよい(教育課程に組み込まない形で)。
(令和3年度第10回学校部会) 第9回まで報告等	第9回学校部会までの経緯 ①教育課程に関する意見書 ②令和3年度交流学習の実施状況と計画	<ul style="list-style-type: none"> ・遊佐小学校の校舎を使った交流学習の回数を増やす方向で検討する。 ・中止となった交流学習については、別の機会に実施する方向で検討する。 ・地域から学校が遠くならないこと、教育は地域で行うことが基本である。地域の力が大事である。 ・教育予算の確保が大事であるので、各方面で声を出していく。
(令和3年度第10回学校部会) その他	今後の進め方等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もそれぞれの立場から情報を出し合いながら、情報共有をしていく。 ・学校の方針が出てから、必要に応じて各まちづくり協議会のことを検討する。 ・令和3年度の状況と令和4年度の計画等を確認する場を設ける。

(学校部会)の内容、方針等 (部会長：R3梶原勝(R1・2菅原寛)、副部会長：R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項目	検討内容	今後の方針
(令和3年度第11回学校部会) 報告等	<ul style="list-style-type: none"> 第10回学校部会の確認 「総合的な学習の時間」等で学ばせたい学習素材のリスト(教育課程に関する意見書) 交流学習について「令和3年度の交流学習の状況」と「令和4年度遊佐町立小学校交流学習の進め方について」 	<ul style="list-style-type: none"> 【別紙】報告どおり
(令和3年度第11回学校部会) 各地区行事等と新小学校との関わりについて	<p>新校における地区運動会の持ち方</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学校行事として行うかどうか ②職員の参加体制 <p>地区特有の行事や学習について</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業日しない(学校行事にしない)と、子どもや家庭は自由参加の意識を持つことになる。そうなると、参加が少なくなり、運動会自体が盛り上がりなくなるのではないか。 教職員が参加することで、学校と地域がつながる感じを持つ。子どもたちの把握をしていく中で、地区運動会のあり方を考えていかなければならない。各まちづくり協議会が主体となり、学校に頼らない運動会を考えていく必要がある。学校行事として続けていくのは難しいのではないか。 地域としては、形は変わっても継続していくことが大切である。 これまで学校と連携しながら行なってきた行事を、各まちづくり協議会だけで担っていくことを考えると、職員体制や予算面で不安が残る。事務的な部分が多いかと思うが、各まちづくり協議会の充実に向けて町からのフォローが必要となる(これまでのように学校で担うことは難しい)。
(令和3年度第11回学校部会) その他	<p>今後の進め方や学校部会に関わらない事柄</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次回は3月頃を予定 スクールバスの停留所への要望 理事会の早期開催
(令和3年度第12回学校部会) 書面開催 報告等	<ul style="list-style-type: none"> 第11回学校部会の確認 交流学習の日程(案) 町校長会としての方向性(地区運動会と地域行事) 	<ul style="list-style-type: none"> 交流学習に日程について、一部変更あり 3月末に「まちづくり協議会連合会と校長会との打ち合わせ会」を開催予定

(学校部会)の内容、方針等 (部会長：R3梶原勝(R1・2菅原寛)、副部会長：R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項目	検討内容	今後の方針
<p><まちづくり協議会連合会との打合せ会> ① 3月25日(金) 1 新小学校での住民運動会への参加について</p> <p>2 地区特有の行事や学習について</p> <p>(令和5年度からの見守り隊のあり方についても検討)</p>		<p>・校長会としての方向性について提示。今後、各地区間の調整が必要になる。(開催時間、雨天の場合の対応、やるかやらないかの判断、小学校の種目と種目内容等)</p> <p>・各地区での今後の運動会のあり方、グラウンドの維持管理が課題</p> <p>・学校行事としてやっていくことは難しい。残していくとすると、どのような形でできるかの検討が必要。参集範囲を広げることができなものもある。</p> <p>・推進員を中心として各地区連絡員(中学生)も関わらせながら進めていきたい。</p>
<p><まちづくり協議会連合会との打合せ会> ② 6月16日(木) ③ 7月15日(金) 1 新小学校での住民運動会への参加について</p> <p>2 地区特有の行事や学習について</p> <p>(令和5年度からの見守り隊のあり方・CSと地域学校協働活動についても検討)</p>		<p>・基本的には、旧学区6地区に分かれて学校行事(授業日)として行う。午前で運動会が終わる地区もあるため、学校行事として扱うのは午前のみとし、午後からは各家庭の任意による地区行事としての参加とする。</p> <p>・ただし雨天時は、地区によって運動会実施の可否が異なるため授業日とはしない(学校は休業日)。雨天時でも運動会を実施する地区については児童の参加は、地区行事として各家庭の任意とする。</p> <p>・統合後に予想されることとして、これまで各学校と地域(まちづくりセンター)が連携を図りながら行ってきた行事(例えば、高瀬相撲大会・剣道大会、吹浦祭等)については、5校が統合となれば同様の活動は困難になることが予想される。そのため、児童参加が伴うこのような行事を統合後も継続させていく場合は、地域(まちづくりセンター等)が中心となり、学校とつながりながら進めていくことが必要になると考えられる。行事案内配布の必要があれば、学校を通じて行うことで全町の児童に参加を呼び掛けることが可能となる。また、活動の内容にもよるが、体験的に学校のクラブ活動として行うことも考えられる。</p>

(学校部会)の内容、方針等 (部会長:R3梶原勝(R1・2菅原覚)、副部会長:R3尾形清明(R1・2佐藤裕士))

項 目	検討内容	今後の方針
<p>(令和4年度第12回学校部会) 交流学習の様子</p> <p>新校教育課程の進捗状況</p>	<p>交流学習の様子を映像視聴</p> <p>新校のグランドデザイン(案)について 新校の年間教育計画について(案)について</p> <p>その他</p>	<p>・6月から7月にかけて行われた各学年(1～5年)の交流学習の様子の映像を見てもらった。どの学年も、5校の児童が楽しく、仲良く活動する様子が見られた。感想では、「早く4月にならないか楽しみです。」という声が聞かれた。11月14日に全体交流学習、12月から各学年の交流学習2回目が行われる予定。</p> <p>・新校の学校経営の指針となるグランドデザイン(案)を部会長が説明した。ふるさとを愛する体験を重視しているところがよいという意見や鳥海山のすそ野となる幼保小の連携を入れるべきという貴重な意見をいただいた。また、1年間の学校の教育計画案を説明した。</p> <p>・児童が安全に登下校できるかといった、スクールバスに対する不安や地区懇談会のあり方に対するご意見をいただいた。</p>

令和5年度 遊佐町立遊佐小学校グランドデザイン(案) ※下線…検討が予定されている箇所

教育基本法 学習指導要領 第6次県教育振興計画 第2次町教育振興基本計画	学校教育目標 鳥海の高さに向かい、 ふるさとを愛する子どもの育成	社会の要請 地域・学校の実態 保護者・地域社会の願い 教師の教育理念
---	---	---

【めざす子どもの姿】

「ふるさと」とともに学ぶ子ども

日本海 のように 広く深く考える子	湧水 のように 美しさを求める子	鳥海山 のように 高い志のある子
-----------------------------	----------------------------	----------------------------

※「ふるさと」は、我が町、我が地域の他に、日本や世界を含み、持続可能な社会の担い手となることを意図している。

【めざす学校の姿】

新しい遊佐小学校の校風をみんなで作る学校

1. 一人一人が大切にされ、一人一人が輝き、確かな学力を培う学校
2. 豊かな心が育ち、児童が主体的に活動する学校
3. ふるさとに学び、ふるさとを元気にする地域とともにある学校

【めざす教師の姿】

教職員のフットワーク、チームワーク、ネットワーク

1. 新校の学校づくりに誇りを持ち、学校経営に積極的に参画する教師
2. 「担任力」を磨き、児童一人一人のよさや可能性を伸ばす教師
3. 授業づくりに情熱を注ぎ、絶えず指導力の向上をめざす教師
4. 教育公務員としての倫理観を持ち、責任ある職務遂行に努める教師

【新校開校初年度の経営の重点】

1. 絆づくりを意識した自己有用感の育成 ～ 子ども一人一人に寄り添った教育 ～
2. ふるさとを元気にする教育課程の構築 ～ 地域とともにみんなで作る学校 ～
3. 「小中一貫した教育」の構築 ～ 9年間の学びで育てる学校 ～

ふるさと愛の育成	確かな学力の育成	豊かな心の育成	たくましい心身の育成
(1)特色ある教育課程の工夫によるふるさと愛の醸成 (2)コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進 (3)地域への発信による地域とともにある学校の具現 (4)小中一貫した地域連携教育の推進	(1)基本的な学習習慣の確立と授業と家庭学習の連動 (2)日常の授業における探究型学習の推進と自己調整力の育成 (3)変化に対応した力をはぐくむ外国語教育と情報教育の推進 (4)家庭、地域と連携した読書活動の推進	(1)子ども同士の絆づくりを育む心の教育の充実 (2)自己有用感を育む縦割り班活動や体験活動の充実 (3)生徒指導の3機能を活かした授業による自己指導能力の育成 (4)キャリアパスポートを活かした系統的、体系的なキャリア教育の推進	(1)運動体力の向上に向けた体育指導の充実 (2)健康教育と食育教育の充実 (3)地域と連携した安全教育、防災教育の充実 (4)家庭と連携した自己管理能力の育成(早起き、朝ごはん、躍動、早寝)

【多様性を尊重し、一人一人が輝く特別支援教育】

1. 全職員の共通理解に基づく特別に支援を要する児童への支援(教育支援計画、個別の指導計画の活用)
2. ユニバーサルデザインの見点(視覚化、焦点化、共有化)を生かした学級、授業づくりの推進
3. 交流および共同学習の計画的な実施や縦割り活動の工夫による「小さな共生社会」の実現

【遊佐町唯一の小学校:コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進】

1. 保護者や地域住民と経営ビジョンや育てたい子ども像を共有したみんなで作る学校の実現
2. 学校・家庭・地域の三者が協働し、子どもの成長を支えながら、ふるさとへの愛着と誇りを育む機運の向上。
3. 遊佐町小中一貫教育で、知・徳・体が調和した9年間を見通した教育課程のあり方を提言。

令和5年度 遊佐小学校教育計画について【案】

遊佐町校長会

1 計画を立案する上での考え方

- (1)初年度は特に立ち上げの年度であり、教員が児童と向き合ったり、児童どうし良好な関係をつくったりする時間を確保させるため、全体的に余裕のある教育計画を心がける。
- (2)学校と家庭、地区との情報発信や情報交換の場を大切に、それぞれの考えや意見について情報共有しながら改善を図り、みんなで作る学校の実現に努める。

2 教育計画(概要)

<4月>

- ・開校式【5日】
- ・入学式【11日】
- ・授業参観・学年懇談会(PTA総会は紙面総会)【下旬】

<6月>

- ・地区住民運動会【4日】※実施のあり方については下欄参照

<7.15 まちづくり協議会連合会との打ち合わせ会より>

- 基本的には、旧学区6地区に分かれて学校行事(授業日)として行う。午前で運動会が終わる地区もあるため、学校行事として扱うのは午前のみとし、午後からは各家庭の任意による地区行事としての参加とする。)
- ただし雨天時は、地区によって運動会実施の可否が異なるため授業日とはしない(学校は休業日)。雨天時でも運動会を実施する地区についての児童の参加は、地区行事として各家庭の任意とする。

- ・4年宿泊体験学習(1泊2日)【中旬】
- ・保護者面談【下旬】

<7月>

- ・5年宿泊体験学習(2泊3日)【上旬】
- ・水泳関連(全体による水泳記録会を行わず、各学年で水泳の授業等を参観できる時間を設定する)

<8月>

- ・小中地区懇談会(各地区<旧学区>ごとに行う。地区には担当と管理職がうかがい、情報交換を

行う。1地区ずつ6日間にわたって開催(中学校保護者も参加)【上旬】

<9月>

- ・新校運動会【中旬】
- ・前期通知表配付【下旬】

<10月>

- ・修学旅行【上旬】

<11月>

- ・学習発表会【上旬】※各地区の秋祭りについては、地区ごとに開催日を決定

<12月>

- ・授業参観【上旬】

<2月>

- ・授業参観【上旬】
- ・通知表配付【下旬】

<3月>

- ・卒業式【18日】

これまで行ってきた地区特有の行事や学習について

(※まちづくり協議会連合会との打ち合わせ会で確認済)

統合後に予想されることとして、これまで各学校と地域(まちづくりセンター)が連携を図りながら行ってきた行事(例えば、高瀬相撲大会・剣道大会、吹浦祭等)については、5校が統合となれば同様の活動は困難になることが予想される。そのため、児童参加が伴うこのような行事を統合後も継続させていく場合は、地域(まちづくりセンター等)が中心となり、学校とつながりながら進めていくことが必要になると考えられる。行事案内配布の必要があれば、学校を通じて行うことで全町の児童に参加を呼び掛けることが可能となる。また、活動の内容にもよるが、体験的に学校のクラブ活動として行うことも考えられる。

R 4 新校開校に向けた学年交流学習計画表

2022.10.1 現在

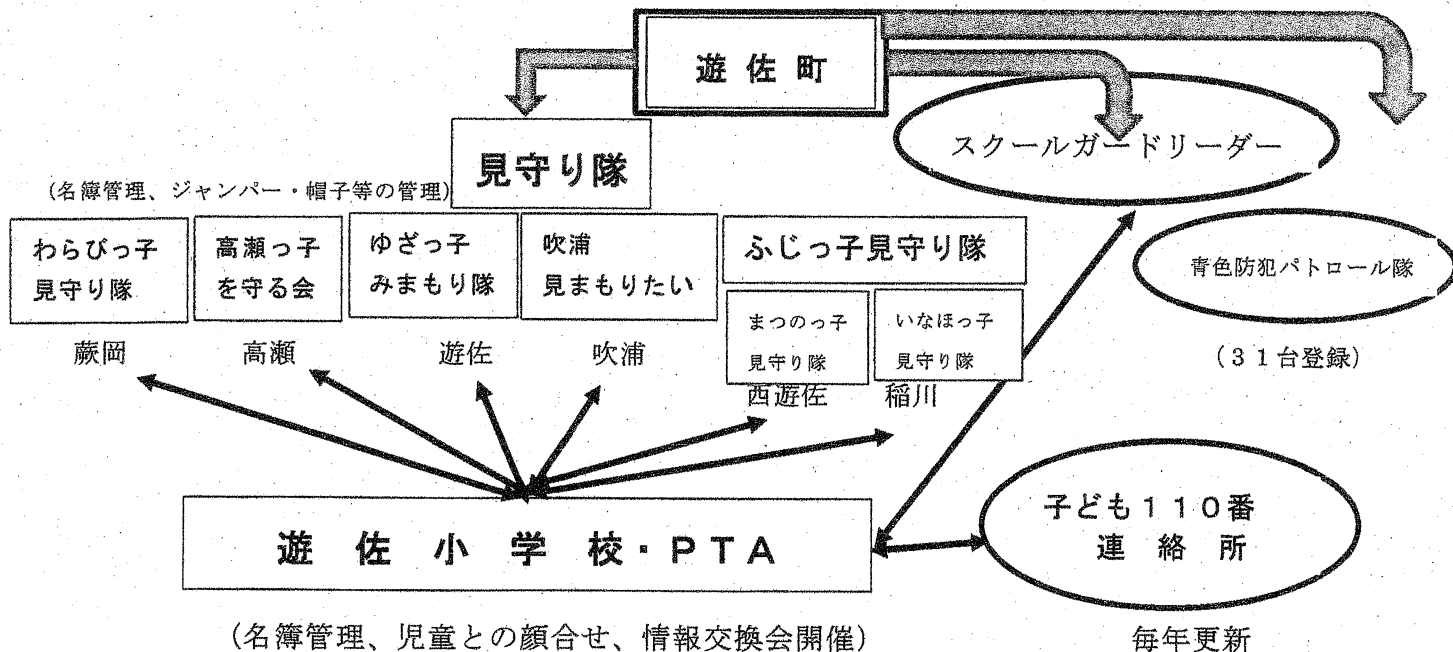
学年	期日 (1回目)	内 容	期日 (2回目)	内 容
1年	6/22(水)	・仲間作りゲーム ・遊佐小探検 (教師主体)	12/7(水)	3つの教室に分かれて (仮3組に分かれて) ①自己紹介 ②あいさつリレー (よろしくカードを使って)
2年	6/17(金)	・グループ作りゲーム ・ミニレクリエーション ・校内オリエンテーリング	1/12(水)	図工 (わくわくすごろく) 6人ずつ12グループに分かれ、各グループごと1つのすごろくを完成させる。その後遊ぶ。
3年	6/8(水)	・交流レク (しっぽとり、ドッジボール) 全体で仲良くなる活動	1/18(水)	国語「俳句を作ろう」の学習 プレ3クラスに分かれて授業
4年	7/6(水)	・名刺交換 ・交流レク ・自己紹介 ・遊佐小探検	1/25(水)	3組に分かれて 国語の「百人一首の世界」の学習
5年	7/13(水)	<体育> ・仲間作り ・ダッシュ 等 <外国語> ・名刺交換 ・自己紹介	12/14(水)	<図工> ・新聞アート <学活> (話し合い) ・「どんな新遊佐小に していきたいか」
6年	9/20(水) 11/14(月)	・仲間づくり ・レクリエーション (全体を3グループに分ける)		

見守り隊（登下校の見守り活動）の今後の方向性について

1 令和5年度からの基本方針

- (1) これまでの見守り隊を継続し、遊佐町の児童生徒の見守りをお願いしたい。
- (2) 各地区の見守り隊の皆様へ
 蕨岡小学区・高瀬小学区・吹浦小学区・藤崎小学区（旧西遊佐小学区・旧稲川小学区）
 <バス通学の児童>バス停での乗降の見届け
 自宅からバス停まで・バス停から自宅までの見守り活動
 遊佐小学区・・・<バス通学の児童>バス停での乗降の見届け
 自宅からバス停まで・バス停から自宅までの見守り活動
 <徒歩の児童>登下校の見守り
 ※ バス停等地区毎ピンポイントで見届けていただく。
- (3) 遊佐小学校児童の見守り隊の全体の事務局は、新游佐小学校に置く。常に6地区のまちづくり協議会との連携を図り、ジャンパー・帽子等の備品はまちづくりセンターで保管する。
- (4) 見守り隊への入退隊の連絡は、各まちづくりセンターに行く。各まちづくりセンターの事務局から遊佐小学校へ報告する。
- (5) 年1回児童との顔合わせの会と兼ねて、各地区の見守り活動の情報交換（連絡会）を行う。
 ※ 新校開校後、新小学校の見守り隊の結成を視野に入れて準備を行う予定。

2 令和5年度からのあり方



3 各見守り隊の予算

- ・ 新游佐小学校の教育後援会より、児童の見守り隊補助として、各地区まちづくり協議会へ各1万円を計上する。

4 今後の予定

年月日	予 定	備 考
令和4年 6月16日(木)	まちづくり協議会連合会と校長会との 打合せ(見守り隊について検討)	※今後も継続検討
6月	新設のバス停設置を区長さんへ伝え、地 区での見守りもお願いします。	※9/20 試運転へ向けて学校 への説明を行う。 (登校のバス停確認)
8月下旬 10月下旬	第1回SB試運転の案内 (児童の路線・乗車バス停・予定時刻を 決定)	※保護者・見守り隊へ見守り のお願いをする。(見守り隊 員には事務局を通して)
9月20日(火) 11月14日(月)	第1回の試運転の実施と見守り活動の 実施	※朝の見守りをお願いします。
令和5年2月～	現在の見守り隊員へ来年度からもお願 いする。また、新隊員の募集を行う。	※見守り隊員へR5年度以 降もお願いします。また、新た な見守り隊の隊員を募集す る。
3月まで	現在の見守り隊の名簿を作成 (学校またはまちづくりセンター)	※新年度に新遊佐小学校へ 各地区の子ども110番と見 守り隊のメンバーを引き継 ぐ。
	第2回SB試運転(3月23日)	※朝の見守りをお願いします。
4月	第3回SB試運転(4月4日)	※朝の見守りをお願いします。 ※各地区の見守り隊の活動 を行っていただく。
	各地区見守り隊新規募集	※新小学校の見守り隊員を 募集する。
5月	顔合わせと情報交換会	※各地区の児童の様子や見 守り活動の状況について情 報交換する。

※ 今年度中に、子ども110番連絡所の確認を各小学校へお願いします。また、各地
区見守り隊の名簿の確認を各校・まちづくり協議会へお願いします。

令和5(2023)・6(2024)・7(2025)年度の統合新小学校及び現小中学校別児童生徒数・学級数の見込み
 令和4年4月7日現在 遊佐町教育委員会

学校	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	
統合新小学校	令和5年度	人数	64	81	77	77	79	79	457
		学級数(普通学級)	2	3	3	3	3	3	17
	令和6年度	人数	79	64	81	77	77	79	457
		学級数(普通学級)	3	2	3	3	3	3	17
	令和7年度	人数	68	79	64	81	77	77	446
		学級数(普通学級)	3	3	2	3	3	3	17
藤岡小	令和5年度	人数	8	(11)	6	10	12	8	55
		学級数	1	1		1	1	1	5
	令和6年度	人数	13	8	(11)	6	10	12	60
		学級数	1	1	1		1	1	5
	令和7年度	人数	9	13	8	(11)	6	10	57
		学級数	1	1	1	1		1	5
遊佐小	令和5年度	人数	21	32	30	33	23	26	165
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	令和6年度	人数	23	21	32	30	33	23	162
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	令和7年度	人数	25	23	21	32	30	33	164
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
藤崎小	令和5年度	人数	15	9	22	18	16	18	98
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	令和6年度	人数	21	15	9	22	18	16	101
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	令和7年度	人数	13	21	15	9	22	18	98
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
高瀬小	令和5年度	人数	11	16	8	8	14	17	74
		学級数	1	1		1	1	1	5
	令和6年度	人数	10	11	16	8	8	14	67
		学級数	1	1	1		1	1	5
	令和7年度	人数	10	10	11	16	8	8	63
		学級数	1	1	1	1		1	5
吹浦小	令和5年度	人数	9	13	11	8	14	10	65
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	令和6年度	人数	12	9	13	11	8	14	67
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
	令和7年度	人数	11	12	9	13	11	8	64
		学級数	1	1	1	1	1	1	6
遊佐中	令和5年度	人数	106	90	90	—	—	—	286
		学級数	4	3	3	—	—	—	10
	令和6年度	人数	79	106	90	—	—	—	275
		学級数	3	4	3	—	—	—	10
	令和7年度	人数	79	79	106	—	—	—	264
		学級数	3	3	4	—	—	—	10

※複式学級とは、2学年で1クラス(担任1名)になる学級。設置基準人数は、小学1年と2年は2学年合計児童数8名以下、小学2学年以上は、上下2つの学年の合計児童数16名以下が該当します。

□で数字を囲った学年は、複式学級になります。

※()で数字を囲った学年は、1名の減員が生じ2学年計で16名になると複式学級になります。

《参考までに》山形県の学級編制は、独自の【さんさんプラン】(1学級最多で33名の少人数学級編制)に基づいています。

新小学校の令和5年度でみると、1年生は2学級に、2年生から6年生は3学級になります。ちなみに国の基準は、1学級40名(1~3学年は35名)です。

※今後、異動等により変わる場合がございますが、機会を捉えて教育委員会だよりでお知らせします。